

# カタリナ

学報

第30号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2013. 6. 1



聖カタリナ大学第26回

聖カタリナ大学短期大学部第48回 入学式式辞

学長 ホビノ・サンミゲル



今年も春がやってきました。春は自然の美しさと生命の神秘を私たちに教えてくれる季節です。そして春の喜びと美しさのシンボルのひとつが桜です。桜の花は毎年私たちに自然の命の尊さを見せてくれます。私たちのキャンパスの桜は、新しい門出の象徴でもあります。美しい桜の花も、皆さんの聖カタリナ大学、聖カタリナ大学短期大学部への入学を、祝ってくれています。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、遠いところからやってきた留学生の皆さんにも、入学のお祝いを申し上げます。

また今日の良き日まで、この若者たちを導き、支えてくださった保護者の皆様に、心からの感謝とともに、お祝いを申し上げます。

ご来賓の皆様には、公私ともにお忙しい中、本学の入学式にご列席くださり、ありがとうございます。心から御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、今日から新しい生活が始まります。本学での生活は、将来、一人ひとりが社会の中で、自分の使命を果たすことができるようになるための、大切な準備期間になります。皆さんは今、自分の将来に対して、大きな夢を抱いていると思います。その夢をかなえることができるかどうかは、皆さんがファイトをもって、本学での生活を送ることができるかどうかにかかっています。今日、桜咲くこの日に、胸に抱いた喜びと希望を忘れずに、あらゆる困難に打ち勝って、夢を実現してほしいと思

います。

大学は、高等教育機関として文化、科学技術、人生に対する価値観を伝える使命を持っています。すなわち、学問を修めると同時に、豊かな人格を形成する場所でもあります。皆さんは今日から、そういう場所に身を置くのだということを、忘れないでください。

スペインに、サラマンカ大学という歴史的にも有名な大学があります。そこは16世紀、17世紀のヨーロッパで、学問の中心的な役割を果たしてきました。皆さんがご存じのクリストバル・コロンブスは、アメリカに行く前にこの大学に相談をしにきました。ですから、新世界の発見に大きな役割を果たした大学だとも言えます。サラマンカ大学は学生に対するラテン語の有名なスローガンがあります。《Quod natura non dat, Salamanca non praestat.》。日本語で言えば、「勉強に対する意欲がなければ、サラマンカ大学は何にも与えることができない」。良い大学に入っても、学生自身が努力しなければ、大学は何にもすることができないということです。

このスローガンを、すべての皆さんが共有してください。今日から皆さんの主な仕事は勉強です。学問をするというのは厳しい仕事です。努力しないで、学問を修めることなどできません。そのことを思いながら、大学生らしい生活を送っていただきたいのです。本学の教職員は、全力を尽くして、今まで積み上げてきた知識と経験をもとに、皆さんを教育

する準備があります。是非この機会を見逃さないでください。

ご存知のとおり本学はカトリックの大学です。キリスト教の大学は約2,000年の歴史を持っていますが、その間に形成されたヒューマニズムに基づいて教育を与えています。カトリックとは普遍的、国際的という意味を持っています。その精神に従って本学は5大陸で姉妹校を持っています。

また本学は、聖ドミニコ修道会によって経営されています。聖ドミニコ修道会は、キリスト教的な愛と研究によって得た真理を伝えるために、約800年前に設立されました。設立された当時から、学問の修道会として知られています。その使命を果たすために、多くの人が全世界に出て行き、何千もの教育機関を運営してきました。また本学は、聖ドミニコ修道会の愛と真理の精神を掲げ、自らの建学の精神としました。そして14世紀イタリアのシエナに生まれ、聖ドミニコ会に属した偉大な女性、聖カタリナを保護者として選びました。

皆さんにはこの、《愛と真理》という建学の精神に基づいて、社会に出る準備をしていただきたいです。良い教育とは全人教育を行うことであり、それによって社会に出るための準備が行われます。その準備には、2つの重要な要素が必要です。すなわち、物質的な要素と精神的な要素です。物質的要素とは、人格における学問的側面です。精神的要素とは、人間の精神と心を支える倫理と宗教による普遍的価値観の側面です。

私たちは社会人として社会の建設に参加しなければなりません。社会をより進歩させるためには、ますます専門的な知識が必要となっています。そして、将来の社会は科学技術の進歩に伴い、さらに高度な知識を要求するでしょう。社会はどんどん変わっていきます。大学で学んで社会に出ても、専門的な知識をさらに進化させなければ、未来の社会に貢献することはできません。ですから将来の社会の変化に対処するためにも、大学において学問的な基盤を作るべきなのです。

その社会で幸福生活を実現するためには、私たちは豊かな人格と大きな心を持たなければなりません。しかし現代社会は、普遍的な価値が貧弱になっています。人間は知識とコンピューターを中心にした科学技術によって支配され、ロボットのような生活を送りつつあります。しかし、私たち人間は、決してロボットになってはいけません。自分で考え、自由に行動しつつ責任感を持ち、思いやりの心で生活を送るときに、私たちは初めて人間になる

のです。

本学はキリスト教の教えとヒューマニズムに基づく、人間の精神的な面に対する教育を大切にしているので、倫理と宗教的価値をカリキュラムに加えています。普遍的価値を持つことによって、私たちは、私たちが生きる本当の理由を知り、心の平和を味わい、喜びのある生活を送ることができるのです。

先月11日に、アルゼンチンのブエノス・アイレス大司教だったフランシスコが、新しいローマ法王として選ばれたのは、皆さんご存知だと思います。フランシスコは、就任してから初めての日曜日、ミサに集まっていた25万の人々に、「わたしたちの喜びは神を見つけることによって生まれます」と語りました。私もそのとおりだと思います。聖ドミニコ修道会の聖トマス・アクイナスも「本当の幸せは心の安心と平和である」と語っています。人々は物質的な発展によって人間の幸せが生まれると思っていますが、経済と金融の危機、暴力と戦争、差別と貧困、環境破壊などを考えれば、そうではないことが分かります。

先ほど読まれた聖書の箇所《知恵の尊さ》について書かれていました。知恵に比べれば、富、お金、健康は無に等しい。そして本当の知恵は神から授けられるものであるとありました。皆さん、今日から本当の知恵の獲得を目指してください。たえず変化している社会の中で、幸福を追求するためには、新しい文化を生み出さなければなりません。その文化の基盤として愛、真理、平和、正義を置かなければなりません。そして、それを通じて、すべての人々と連帯する必要があります。

私たちの大学は理想的な教育を受けるための素晴らしいキャンパスと、伝統的、家庭的な雰囲気を持っています。この環境の中で、健全な友情を育て、楽しい学生生活を送っていただきたいのです。一人ひとりの夢を実現するために、心を開いて、のびのびと準備してください。そして、毎日の生活に直面する問題を克服するために、お互いの力をあわせてください。

最後に、今日入学した皆さん。今から本学の学生として誇りを持って生活を始めてください。そして、何よりも、楽しい学生生活を送ってくれることを祈っています。

本日は、本当におめでとうございます。

## ●健康運動実践指導者認定試験

聖カタリナ大学合格率 100.0%

全国の合格率 58.7%

平成24年度健康運動実践指導者認定試験が、平成24年12月(実技)、平成25年1月(筆記)に実施され、健康スポーツマネジメント専攻の学生22名が受験し、22名全員が見事合格しました。

## ●学内合同企業説明会を開催

1月29日(火)大学3年生と短大1年生を対象とした学内合同企業説明会を本学で開催しました。

説明会には、愛媛県内で製造、販売、サービスなど様々な事業を展開する企業32社が参加。採用担当者は、映像や自社商品などを使い、学生に企業の特色をわかりやすく紹介していました。

参加した学生も積極的にブースを訪問し、仕事のやりがいや社風などを熱心に質問する姿も見られました。



## ●学長と学生との懇談会(第12回)を開催

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部では、2月8日(金)に平成24年度「学長と学生との懇談会(第12回)」を開催しました。

懇談会では、大学関係者として学長、副学長、人間健康福祉学部長、保育学科長、学生部長が出席し、学生と軽食をとりながら、リラックスした雰囲気の中で率直な意見交換を行いました。

この懇談会は、学生の声を直接聞くことによって、今後の教育改革や学生支援、さらには大学運営に役立てることを目的として毎年開催しています。

学生からは学習環境や授業内容に関すること等、学生生活の中で、学生が感じていることや要望等を、大学に直接伝えることができる有意義な機会となりました。

なお、学生から寄せられた意見・要望等については、今後学内で検討し、授業や施設・設備の改善等に反映していくことにしています。



## ●愛媛銀行寄附講座・聖カタリナ大学「風早の塾」を開講

4月26日(金)に愛媛銀行寄附講座・聖カタリナ大学「風早の塾」の開講式と第1回目の講義が行われ、約100名の方にご参加いただきました。

この寄附講座は、「健康」をキーワードに「現代社会を生ききる叡智～生老病死をこえて～」をテーマとし、社会学や心理学、宗教学、医学などの分野で著名な講師を全国から招聘し、学生に加えて一般市民の方も聴講できる講座です。



## ●平成25年度後援会奨励表彰

5月15日(水)、母をたたえる日の行事に併せ、後援会長から後援会奨励金の授与が行われました。この奨励制度は、在学生の学業成績優秀者に後援会から奨励金を授与し、さらなる勉学への励みとしてもらうものです。今年度の表彰者は以下の皆さんです。

大森 彩香さん(大学2年)

武智 咲紀さん(大学2年)

日野亜衣梨さん(大学2年)

山本 裕之さん(大学3年)

田中 里枝さん(大学3年)

毛利 華子さん(大学3年)

矢野 誠也さん(大学3年)

門田 葉月さん(短大2年)

松下 美瑠さん(短大2年)

◆◆ 平成 24 年度後期行事 (H24.10.1 ~ H25.3.31) ◆◆

月	日	曜	区	行 事
10	5	金		将来計画委員会、学生生活委員会
			大	まつやまシニアカレッジ
	6	土		入試・募集委員会
			大	AO入試面接、外国人留学生入試(指定校)
				編入学試験(一般Ⅰ・提携Ⅰ・指定校推薦)
			短	AO入試面接、外国人留学生入試(指定校)
	9	火		教授会
			大	人事委員会
	10	水		図書館委員会、FD委員会
			大	FD委員会
	12	金		教務委員会
			大	教務委員会大学部会
			短	人事教授会、大学評価委員会
	15	月	短	保育学科会議
	16	火		大学訪問(聖カタリナ女子高等学校)
	18	木		理事長講話
	19	金		学長候補者推薦会議
				人間文化研究所フォーラム、人間文化研究所所員会
				連携協力協定調印式(愛媛銀行)
			大	まつやまシニアカレッジ
	23	火		SD委員会
	24	水		キリスト教研究所紀要編集委員会
				キリスト教研究所フォーラム
			大	選考教授会、人事委員会
	25	木		大学訪問(北条南中学校)
	26	金		大学祭(～10/28)
			大	学部年間計画協議会
11	2	金		大学訪問(北条高等学校)
			大	まつやまシニアカレッジ
			大	教授会、選考教授会、人事委員会
			短	教授会
	3	土	大	推薦入試
			短	推薦入試、社会人入試Ⅰ期
	5	月	短	保育実習[保1](～11/16)
				入試・募集委員会
	6	火		教授会
				SD委員会
	7	水		学長候補者推薦会議
	8	木		会計監査(～11/9)
	9	金	大	健康福祉マネジメント学科会議、人間社会学科会議
	11	日	大	元気な集落づくり事業
			大	教育充実ワーキングチーム会議
	13	火		社会福祉学科会議
			大	
	14	水		キリスト教研究所フォーラム
	16	金	大	まつやまシニアカレッジ
			短	保育学科会議
	21	水	大	人事委員会
	22	木	大	教務委員会大学部会
	27	火		SD委員会
			大	経済支援学生選考委員会
	28	水		奨学制度運営委員会
	29	木		保健講話
	30	金		人間文化研究所フォーラム、人間文化研究所所員会
				広報委員会
			大	まつやまシニアカレッジ

月	日	曜	区	行 事
12	3	月		ボランティアセンター運営委員会
	5	水	大	人事委員会
				学生生活委員会
	6	木		就職委員会
	7	金	大	教授会、選考教授会
			短	保育学科会議
	8	土	大	推薦入試(一般)、社会人入試
			短	推薦入試(一般)、社会人入試Ⅱ期
	10	月		入試・募集委員会
	11	火		教授会
	12	水		図書館委員会、キリスト教研究所フォーラム
	13	木		SD委員会
	14	金	大	社会福祉援助技術現場実習報告会
				国際交流委員会
	18	火		内部監査
	19	水	大	人事委員会
	20	木		学内クリスマス
			大	精神保健福祉援助実習報告会・連絡会
	21	金		冬季休業開始
	27	木		事務職員研修
1	7	月		冬季休業終了
	9	水	大	人事委員会
			大	教授会、選考教授会
	11	金	短	教授会、保育学科会議
	15	火		ギャラリー見学(聖カタリナ大学短期大学部附属幼稚園)
			短	幼稚園教育実習[保1](～1/28)
	16	水		SD委員会
	18	金		人事委員会
	23	水		キリスト教研究所フォーラム
2			大	学生生活委員会
	25	金		人間文化研究所フォーラム
			大	選考教授会
	29	火		学内合同企業説明会
	31	木	大	教務委員会大学部会
			大	後学期授業終了
	1	金	大	後学期試験(～2/7)
			短	人事教授会
	2	土	大	一般入試
			短	一般入試、外国人留学生入試、社会人入試Ⅲ期
			短	入試・募集委員会
	4	月		広報委員会
			大	入試・募集委員会
	5	火		大学訪問(韓国・又松大学校)
			大	教授会
			短	教授会
	6	水		SD委員会
			大	人事委員会
	7	木	短	後学期授業終了
	8	金		第12回「学長と学生との懇談会」
			大	外国人留学生入試、編入学試験Ⅱ期
			大	入試・募集委員会、教授会、選考教授会
			大	人間健康福祉学部長選挙
	12	火	短	入試・募集委員会、教授会
	13	水		FD委員会
	14	木	大	精神保健福祉援助実習[社3](～3/26)

月	日	曜	区	行 事
2	14	木	大	介護福祉実習[介3] (～3/13)
	15	金	短	保育学科長選挙
				FD研修会
	18	月		広報委員会
		大		介護福祉実習[介2] (～3/15)
		大		教務委員会大学部会
20	水			学生生活委員会、キリスト教研究所フォーラム
		大		教授会
22	金			人間文化研究所フォーラム
		大		社会福祉実習委員会、大学評価委員会、社会福祉学科会議
		短		保育実習[保1] (～3/4)
		短		教務委員会短期大学部会
26	火	短		教授会
27	水			奨学制度運営委員会
		大		一般入試
		短		一般入試、社会人入試Ⅳ期
28	木	大		入試・募集委員会、教授会
		短		入試・募集委員会、教授会
3	1	金		予算委員会、事務連絡会議
	2	土		後援会役員会

月	日	曜	区	行 事
3	6	水		ボランティアセンター運営委員会、SD委員会
		短		保育実習[保1] (～3/16)
	8	金		将来計画委員会
		大		教授会
		短		教授会
13	水	大		一般入試
		大		入試・募集委員会、教授会
		短		入試・募集委員会、教授会
14	木			奨学制度運営委員会
15	金			卒業式
		大		人事委員会、選考教授会
20	水			春のオープンキャンパス
21	木			春季休業(～3/31)
				教育充実ワーキングチーム会議
22	金	短		入試・募集委員会
27	水	大		学生生活委員会
				SD委員会
28	木	大		入試・募集委員会
29	金	大		教職課程委員会

## ◆◇ 平成 24 年度卒業生就職等進路状況 ◇◇

平成25年5月1日現在

### 1. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業 種 / 学 科		就 職 者 数		
		社会福祉	健康福祉	合 計
企 業	建設／製造	1	4	5
	情報通信／運輸、郵便	0	2	2
	卸売、小売	5	14	19
	金融、保険	0	0	0
	サービス(宿泊、複合他)	5	8	13
	その他(電気、不動産他)	0	0	0
	教育、学習支援	0	2	2
医療、福祉	医療、保健衛生(病院他)	3	3	6
	児童養護施設	1	0	1
	老人福祉施設	24	13	37
	身体障害者福祉施設	3	0	3
	知的障害者福祉施設	10	4	14
	精神障害者福祉施設	0	0	0
	その他	0	0	0
公 務	国家公務員	0	2	2
	地方公務員	0	1	1

就 職 者 数	52	53	105
( 県 内 )	(45)	(41)	(86)
( 県 外 )	(7)	(12)	(19)
卒業生内訳			
就職未定者数	2	2	4
就職希望者数	54	55	109
就職率	96.3%	96.4%	96.3%
進学決定者	0	2	2
家事・その他	11	6	17
卒業生数	65	63	128

【聖カタリナ大学短期大学部】

業 種 / 学 科		就職者数
		保 育
教 育 , 学 習 支 援	公立幼稚園	0
	私立幼稚園	28
	その他の教育、学習支援業	0
児 童 福 祉	公立保育所	3
	私立保育所・託児所	40
	児童福祉施設	5
	その他の児童福祉事業	0
医療、福祉	医療、保健衛生(病院他)	1
	その他の福祉、介護事業	4
企 業	卸売、小売	8
	宿泊、飲食サービス	1
	金融、保険	0
	その他	6
公 務	国家公務員	0
	地方公務員	0

就 職 者 数	96
( 県 内 )	(89)
( 県 外 )	(7)
卒業生内訳	
就職未定者数	5
就職希望者数	101
就職率	95.0%
進学決定者	5
家事・その他	7
卒業生数	113

(6Pへ続く)



## 2. 職種別状況

【聖カタリナ大学】

職 種 / 学 科	就 職 者 数		
	社会福祉	健康福祉	合 計
医療ソーシャルワーカー(MSW)	0	0	0
精神科ソーシャルワーカー(PSW)	2	0	2
相談員(社会福祉主事他)	3	0	3
支援, 相談(知的・身障・児童他)	13	4	17
介護福祉士・介護・支援, 相談(老人)他	22	14	36
その他の福祉専門職(保育士含)	0	0	0
教員(高等学校のみ)	0	0	0
事務	0	6	6
販売・営業	8	16	24
その他(サービス, 保安, 生産他)	4	13	17
合 計	52	53	105

【聖カタリナ大学短期大学部】

職 種 / 学 科	就職者数
	保 育
幼稚園教諭	28
保育士	44
その他の教員	0
社会福祉専門職業／介護サービス職業	8
事務	4
販売	6
その他(サービス職業／生産工程他)	6
合 計	96

## ◆◆ 平成 24 年度教授会議議題（後期）◆◆

【聖カタリナ大学教授会議議題】

H24. 10. 9 第7回

1. 平成25年度AO入試合格者選考について
2. 平成25年度外国人留学生特別入試指定校推薦合格者選考について
3. 平成25年度第3年次編入学一般入試Ⅰ期合格者選考について
4. 平成25年度第3年次編入学国際提携校推薦入試合格者選考について
5. 特別聴講生の受け入れについて

H24. 11. 2 第8回

1. 平成25年度学年暦について
2. 休学について
3. 退学について
4. 復籍について
5. 履修科目の登録の特別許可について
6. 研究生の退学について

H24. 11. 6 第9回

1. 平成25年度指定校推薦入試合格者選考について
2. 平成25年度専願推薦入試合格者選考について
3. 平成25年度スポーツ特別推薦入試合格者選考について

H24. 12. 7 第10回

1. 学則別表の一部改正について
2. 授業科目の開設について
3. 学長賞の選考について
4. 学部長候補者選考に係る選挙管理委員の選出について

H24. 12. 11 第11回

1. 平成25年度一般推薦入試合格者選考について

H25. 1. 11 第12回

※報告・連絡事項のみ

H25. 2. 5 第13回

1. 平成25年度一般入試A日程合格者選考について
2. 卒業式における学長特別表彰に関する規程の一部改正について

H25. 2. 8 第14回

1. 平成25年度大学入試センター試験利用入試(前期)合格者選考について
2. 平成25年度外国人留学生特別入試合格者選考について
3. 平成25年度第3年次編入学一般入試Ⅱ期合格者選考について
4. 平成25年度第3年次編入学推薦入試提携校Ⅱ期合格者選考について
5. 学則別表の一部改正について
6. 社会福祉学部の廃止について
7. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部履修規程の一部改正について

H25. 2. 20 第15回

1. 卒業判定について

H25. 2. 28 第16回

1. 平成25年度一般入試B日程合格者選考について

H25. 3. 8 第17回

1. 卒業の認定について
2. 進級判定について
3. 退学について
4. 転学科

5. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部私費外国人留学生授業料の減免に関する規程の制定について

H25. 3. 13 第18回

1. 平成25年度一般入試C日程合格者選考について
2. 平成25年度大学入試センター試験利用入試(後期)合格者選考について
3. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部私費外国人留学生授業料の減免に関する規程の制定の一部修正について
4. 転学科

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議議題】

H24. 10. 9 第7回

1. 平成25年度AO入試合格者選考について

H24. 11. 2 第8回

1. 平成25年度学年暦について
2. 休学について
3. 退学について

H24. 11. 6 第9回

1. 平成25年度指定校推薦入試合格者選考について
2. 平成25年度専願推薦入試合格者選考について
3. 平成25年度スポーツ特別推薦入試合格者選考について

H24. 12. 11 第10回

1. 平成25年度一般推薦入試合格者選考について
2. 平成25年度社会人特別入試(Ⅱ期)合格者選考について
3. 学長賞の選考について
4. 学科長候補者選考に係る選挙管理委員の選出について

H25. 1. 11 第11回

※報告・連絡事項のみ

H25. 2. 5 第12回

1. 平成25年度一般入試A日程合格者選考について
2. 卒業式における学長特別表彰に関する規程の一部改正について

H25. 2. 12 第13回

1. 平成25年度大学入試センター試験利用入試(前期)合格者選考について

H25. 2. 26 第14回

1. 卒業判定について

H25. 2. 28 第15回

1. 平成25年度一般入試B日程合格者選考について

H25. 3. 8 第16回

1. 卒業の認定について
2. 復籍について
3. 除籍について

4. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部私費外国人留学生授業料の減免に関する規程の制定について

H25. 3. 13 第17回

1. 平成25年度大学入試センター試験利用入試(後期)合格者選考について
2. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部私費外国人留学生授業料の減免に関する規程の制定の一部修正について
3. 卒業の認定について

# ◆◆ 平成 24 年度学校法人聖カタリナ学園決算概要 ◆◆

## ■ 1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が41億6百万円(予算比△34百万円)、資金支出が41億47百万円(予算比△88百万円)となりました。結果、差額2百万円を前年度繰越支払資金19億37百万円から減算し、次年度繰越支払資金は18億95百万円となりました。

■資金収支計算書：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金（現金&いつでも引き出すことのできる預貯金）の収入及び支出の順末を表します。

(注) 表中数字の単位は、「百万円」です。  
百万円未満は四捨五入して記載しています。

科 目		予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
前年度繰越支払資金		1,937	1,937	—
当年度	資 金 収 入	4,140	4,106	△ 34
	資 金 支 出	4,236	4,147	△ 88
	収支過不足	△ 96	△ 42	54
次年度繰越支払資金		1,841	1,895	54

## ■ 2. 消費収支決算

消費収支決算は、帰属収入が36億74百万円(予算比+68百万円)、基本金組入額が1億21百万円(予算比±0百万円)となり、その結果、消費収入は、35億54百万円(予算比+68百万円)となりました。一方、消費支出は37億72百万円(予算比+21百万円)となり、当年度消費収支差額は△2億18百万円(予算比+48百万円)となりました。この結果、翌年度繰越消費支出超過額は、32億15百万円の予算に対し、決算では31億98百万円となりました。

■消費収支計算書：当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を表します。一般企業会計の「損益計算書」に当たります。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
①帰属収入	3,606	3,674	68
②基本金組入額(△)	121	121	0
③消費収入①-②	3,485	3,554	68
④消費支出	3,751	3,772	21
当年度消費収支差額 ③-④	△ 266	△ 218	48
前年度繰越消費 収支差額	△ 2,983	△ 2,983	—
基本金取崩額	33	3	△ 30
翌年度繰越消費 収支差額	△ 3,215	△ 3,198	17

## ■ 3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末(平成25年3月31日)において、資産の部148億77百万円、負債の部13億33百万円、基本金の部167億42百万円、消費収支差額の部における翌年度繰越消費収支差額は△31億98百万円となりました。なお、資産総額から負債総額を減じた「正味財産額」は、135億45百万円です。

■貸借対照表：一定時点(本学は3月末現在)の資産及び負債、基本金、消費収支差額の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

### \* 参 考 \*

学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の稼得を目的にした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通じた人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、経営という視点を欠き、過分な設備投資や場当たり的な運営を続けていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招いてしまいます。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるよう、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。学校法人は、この「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成することが義務づけられています。\*\*\*\*\*

科 目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増 減 (a)-(b)
資産の部			
固定資産	12,567	12,738	△ 171
流動資産	2,310	2,262	49
資産の部合計	14,877	15,000	△ 123
負債の部			
固定負債	694	728	△ 35
流動負債	639	630	9
負債の部合計	1,333	1,358	△ 26
基本金の部			
基本金	16,742	16,625	118
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費 収支差額	△ 3,198	△ 2,983	△ 215
負債、基本金及び消費 収支差額の部合計	14,877	15,000	△ 123

# ◆◆ 人 事 ◆◆

《平成25年3月31日付け》

【退職】

人間健康福祉学部

教授 飯田 榮  
教授 中川 洋子  
准教授 山本 真嗣  
講師 丹藤 克也  
講師 岩満 賢次

保育学科

教授 西山 洋美  
教授 矢野 加代  
准教授 五十嵐 雅子

会計課

技術職員(非) 田中 悠盛

教務課

事務職員(非) 野本 沙弥花

図書課

事務職員(非) 石丸 教恵

総務課

技術職員(非)

保育学科カタリナ子育て支援ひろば担当

梶原 敬子

法人事務局長 石川 直

《平成25年4月1日付け》

【新規採用】

人間健康福祉学部

教授 伴野 昌弘  
教授 根上 優  
教授 寺尾 寿芳  
講師 森岡 陽介  
助教 近藤 益代

保育学科

助教 小幡 章子  
助教 一色 玲子  
助教 米野 吉則

会計課

技術職員(非) 中屋 健二

教務課

事務職員(非) 白石 彩佳

総務課

技術職員(非)

保育学科カタリナ子育て支援ひろば担当

本田 智恵  
上田 稔

法人事務局長

【昇任】

人間健康福祉学部

教授 宮武 信枝

准教授 丸山 裕司

保育学科

教授 大上 紋子

総務課課長補佐 和田 真佐子

入試課係長(併任：会計課係長)

宮崎 和典

教務課主任 小笠原 由美子

《平成25年4月10日付け》

【退職】

人間健康福祉学部

教授 金 順姫

訃報 金 順姫  
4月10日逝去(64歳)  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

《平成25年4月26日付け》

【新規採用】

人間健康福祉学部

講師 張 珂

## ◆◆ 新任教員紹介 ◆◆

①最終学歴 ②現職 ③主要担当科目 ④就任年月日

ねがみ まさる  
根上 優

- ①東京教育大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程修了
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 教授
- ③体育理論、健康スポーツ実習Ⅱ、現代社会学特別講義Ⅰ、専門演習
- ④平成25年4月1日

ばんの まさひろ  
伴野 昌弘

- ①広島大学大学院教育学研究科教育学専攻博士課程単位取得満期退学
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 教授
- ③教育原理、学校と教育の歴史、生涯学習論、教育社会学、教育課程論、教職実践演習(高)
- ④平成25年4月1日

てらお かずよし  
寺尾 寿芳

- ①南山大学大学院文学研究科神学専攻博士後期課程修了
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 教授
- ③生命倫理、キリスト教学A・B、倫理学概論、基礎演習、専門演習、哲学概論
- ④平成25年4月1日

ちよう か  
張 珂

- ①松山大学大学院経済学研究科経済学博士後期課程単位取得満期退学
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 講師
- ③中国語Ⅱ-a・b、基礎演習、日本事情Ⅰ、生活文化入門
- ④平成25年4月26日

もりおか ようすけ  
森岡 陽介

- ①同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程後期修了
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 講師
- ③感情心理学、心理学Ⅰ・Ⅱ、基礎演習、インターンシップ、心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ、認知心理学、心理学研究法、心理統計学、人間社会学概論
- ④平成25年4月1日

こんどう ますよ  
近藤 益代

- ①聖カタリナ大学社会福祉学部社会福祉学科卒業
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 助教
- ③障害者福祉論、就労支援論、トップマネジメント特講、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ-a・b、Ⅱ、社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、基礎演習
- ④平成25年4月1日

おばな しょうこ  
小幡 章子

- ①ノートルダム清心女子大学大学院人間複合科学専攻博士後期課程修了
- ②聖カタリナ大学短期大学部保育学科 助教
- ③日本語表現、日本の文学、保育内容(言葉)、保育・教職実践演習(幼稚園)
- ④平成25年4月1日

いっしき れいこ  
一色 玲子

- ①広島大学大学院教育学研究科文化教育開発専攻博士課程後期単位取得退学
- ②聖カタリナ大学短期大学部保育学科 助教
- ③子どもの食と栄養A・B、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、保育情報リテラシー、保育・教職実践演習(幼稚園)
- ④平成25年4月1日

こめの よしり  
米野 吉則

- ①兵庫教育大学大学院学校教育研究科学校教育専攻修士課程修了
- ②聖カタリナ大学短期大学部保育学科 助教
- ③教育実習、保育内容(健康)、保育内容(人間関係)、保育者論
- ④平成25年4月1日

## ◆◆ 研究室探訪 ◆◆

### 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 講師 曾我部 敦介



私は西条市出身であり、地元  
の愛媛県で教員をしたいと高校  
時代から考えていました。縁あつ  
て、聖カタリナ大学に奉職するこ  
とができ、勤めて6年目となりま  
す。大学院を修了後、愛媛県内の  
中学校や高等学校の保健体育講  
師をしながら、剣道部の顧問と  
して剣道指導もしていました。ま  
た、以前は本学剣道部コーチも務  
めさせていただいたこともあり

ます。

現在、本学においても剣道指導を行っています。昨年は中  
四国予選を勝ち抜き、全日本女子学生剣道優勝大会に14年  
連続出場することができ、学生は非常に頑張ってくれてい  
ます。競技力を上げていくことはもちろん重要ですが、剣道  
を通して、礼儀作法・忍耐力・人を思いやる心など、学生に  
は人として成長してほしいと思っています。自分の専門と  
する剣道を学生たちに伝えていき、社会に貢献できる人材  
になってもらいたいです。昨年、私は剣道七段を取得するこ  
とことができました。しかし、技術的にも精神的にもまだまだで  
であると感じています。これからも学生と一緒に汗をかきな  
がら自分自身を成長させていきたいです。

大学の授業については、レクリエーション指導法、障害  
者スポーツ、健康スポーツ実習などを担当しています。レク  
リエーションは、スポーツ指導者はもちろん、福祉施設の介  
護職員、或いは相談職員として就職した時に必要な知識、技  
術です。単に「その時を楽しむ」ということに留まらず、高齢  
者と若者、障害がある人とそうでない人が、同じ時間を過ご

すことで交流が深まり、お互いを理解し合うことで「人間関  
係」を築き上げるという効果もあります。今後は、高齢者や  
障害者、子どもを対象とした効果的なレクリエーション指  
導法についての研究を行いたいと考えています。

また、剣道についても引き続き研究を進めていきたいと  
思っています。平成24年度より、中学校において武道が必修  
化となりました。武道を教育することで、様々な日本文化に  
触れることができ、礼儀作法を身につけるなど、良い面もた  
くさんありますが、実際には指導者や施設・設備、安全性の  
問題など、様々な問題点もあるようです。それについても、  
これから研究をしたいと考えています。これらの研究で得  
た知識を、授業や部活動指導を通して学生に伝えていきな  
いです。

本学に奉職することにより、人との「縁」というものをと  
ても感じています。人と人とのつながりを大切に「一期一  
会」の精神で、これからも頑張っていきたいです。



本学剣道部員と

聖カタリナ大学・短期大学部学報  
〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地  
TEL 089-993-0702(代)  
http://www.catherine.ac.jp  
編集・発行  
広報委員会  
kouhou@catherine.ac.jp